

News Letter 2025年9月号

第3回公募開始！ 省エネルギー投資促進支援事業費補助金



経営革新等支援機関推進協議会

CONTENTS

- 1 省エネ補助金とは
- 2 制度概要
- 3 事業1年間のながれ
- 4 第3回公募申請について
- 5 活用イメージ

① 省エネルギー投資促進支援事業費補助金とは

省エネルギーの推進を目的に国内で事業を営む法人と個人事業主のみなさまの省エネルギー対策を支援するもので、汎用的な15設備の更新に対応する補助金です。

こんな企業におすすめ

- 高効率空調や高性能ボイラ、冷凍冷蔵設備などのユーティリティ設備を更新予定の企業
- 工作機械やプラスチック加工機械など生産設備の更新を検討している企業
- 省エネによるコスト削減や生産性向上を目指す企業
- エネルギー価格高騰への対策を進めたい企業



② 制度概要

設備導入を行う補助事業を2つの類型から選ぶことができます(組み合わせも可能)

| 項目 | (Ⅲ)設備単位型 | (Ⅳ)エネルギー需要最適化型 |
|--------|---|---|
| 事業要件 | SIIがあらかじめ定めたエネルギー消費効率等の基準を満たし、SIIが補助対象設備として登録及び公表した指定設備へ更新する事業 | SIIに登録されたEMSを用いて、より効果的にエネルギー使用量削減及びエネルギー需要最適化を図る事業 |
| 申請要件 | ①省エネ率：10%以上 ②省エネ量：1kl以上 ③経費当たり省エネ量：1kl/千万円以上 ユーティリティ指定・生産設備などの指定設備を満たすこと | SIIが予め定めたシステム要件を満たし、補助対象設備として登録及び公表したEMSを導入して、導入する範囲において設備又は工程単位のエネルギー消費状況を把握・表示・分析し、運用改善を実施すること。 |
| 補助対象経費 | 設備費 | 設計費・設備費・工事費 |
| 補助率 | 1/3以内 | 中小企業1/2以内 |
| 補助金限度額 | 上限1億円 下限30万円 | |

③ 第3回公募申請について

| | |
|------|--|
| 公募期間 | 2025年8月13日(水)～9月24日(水) |
| 交付決定 | 2025年11月中旬(予定) |
| 事業期間 | 交付決定日から2026年1月31日(土)まで <small>※複数年度事業は、交付決定日から2027年1月31日(日)まで</small> |

申請パターンは2種類

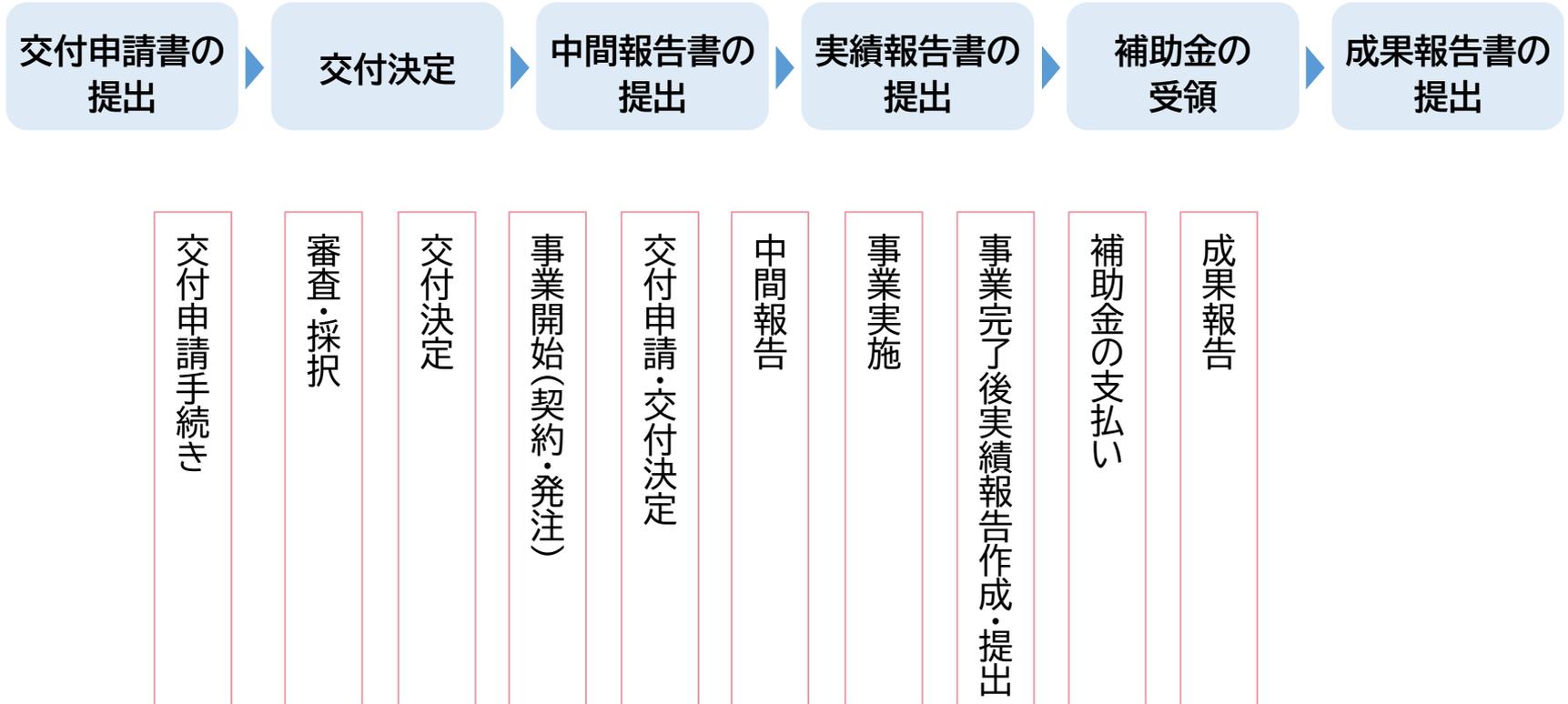
(Ⅲ)設備単位型単独

(Ⅲ)設備単位型

+ (Ⅳ)エネルギー需要最適化型

※1つの補助事業として計画し、1通の交付申請書を作成すること

4 事業1年間のながれ



⑤ 活用事例

高効率空調・冷凍冷蔵設備

高効率設備の導入により、省エネ型の店舗へ

株式会社スズキヤ（葉山店）

神奈川県三浦郡葉山町/飲料食品小売業
https://www.suzukiya-inc.jp/

事業概要

株式会社スズキヤは、2022年に創業120周年を迎え、神奈川県を中心にスーパーマーケットを展開しています。
地産食材の仕入れに力を入れており、地場の魚介・野菜などを取り揃えております。
葉山店は、葉山御用邸から徒歩2分で、海岸からも近く豊かな自然に囲まれたエリアに位置する店舗です。

今回、本補助金を活用し、空調と冷凍冷蔵設備を高効率型の製品に更新し、省エネ型の店舗として営業しております。



事業者メッセージ

スズキヤ葉山店では営業開始20年を迎える年に設備の入替を検討した結果、「先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金」を活用し、高効率空調、冷凍機内蔵形ショーケース、コンデンシングユニットの更新しました。前年度と比較し、電気使用量が約6.0%削減になり、一定の省エネ効果を得ることが出来ました。
本店舗では、他にもスライド棚やスライドデッキパンの全面導入や、店内照明およびショーケース照明のタイマー設定などで、従業員の作業環境の改善しつつ、店舗の省エネ化を進めております。

省エネ効果

エネルギー使用量

88.4(kl/年)

省エネルギー量

53.0 (kl/年)

削減コスト

475(万円/年)

補助対象設備の省エネルギー率

60.0 %

CO₂削減効果

104.2(t-CO₂/年)

※削減コストは、電力利用額：1kWh当たり2円を算定した

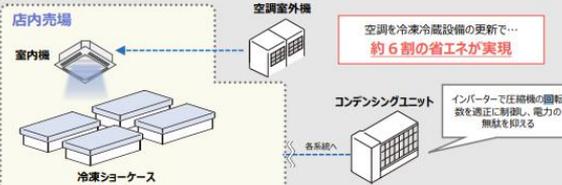
令和3年度事業

補助対象経費 **1,102万円**

補助金 **447万円**

省エネのPOINT

<設備概要図>



食品スーパーでは、24時間稼働している冷凍冷蔵設備のエネルギー消費が最も多く、運用対策の重点ポイントです。
本事業では、空調・冷凍冷蔵設備において、店内温度に応じた稼働時間の見直し、稼働効率に優れた設備に更新することで大きな省エネ効果が得ることができました。

導入設備



高効率空調

| 種別 | APF2006 | 冷房能力 | 台数 |
|-----------|---------|---------|----|
| 電気式 | 5.7 | 20.0 kW | 3台 |
| パッケージエアコン | 6.8 | 4.5 kW | 3台 |
| | 6.6 | 10.0 kW | 1台 |



冷凍冷蔵設備

| 種別 | 2020年度省エネ基準達成率 | 冷却内容積 | 台数 |
|--------------|----------------|---------|----|
| 冷凍機内蔵形ショーケース | 121 % | 2,840 L | 3台 |
| | 113 % | 412 L | 1台 |

| 種別 | 成績係数(COP) | 呼称出力 | 台数 |
|-------------|-----------|---------|----|
| コンデンシングユニット | 0.98 | 19.0 kW | 1台 |
| | 0.95 | 17.6 kW | 1台 |



最後までご覧いただき ありがとうございました

▼▼今回の内容の公的サイトリンクは概要欄へ▼▼